

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 元年 11月 7日

事業所名 bonキッズ富田林

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		建物の構造上エレベーターなどの設置は難しい。利用者に合わせたバリアフリー化は移転を含めて長期的に検討していきます
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		職員全体で取り組めていないので、正職員以外の職員も参画できる仕組みを作っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公表したことを事業所内に掲示します。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月1回プログラムが変わります	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日に役割分担票を掲示しています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度のタイミングでモニタリングを行っています	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/			まだ事例はありませんが、主治医と連携体制をとっていく予定です
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		求めがあれば今までの支援内容や特性のまとめを書類でお渡ししています。今後は求めがない場合でも個別支援計画などを保護者を通じて渡してもらうことにしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		今後機会を設けることが出来るように地域の児童館等と連携をはかっていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		放課後等デイサービスのネットワーク会議には参加していますが、自立支援協議会への参加もおこなっていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		母子通所が基本となっていますので毎回保護者と共通理解をはかっています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者から相談があった場合子どもへの対応について指導を行ってはいます。今後は利用者全員にペアレントトレーニングの機会を提供できるように検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		年に1回程度交流会と研修会を開催しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報ではなくラインで登録してくれている保護者に行事予定などを知らせています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵の付くロッカーに個人情報を保存しています	

36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚支援を活用しています	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		個人情報保護等の視点から地域住民と利用者が場所を共有することは難しいですが、地域の社会資源を活用することで事業所の事を知ってもらう機会にしています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		手に取れるところにマニュアルを提示しています	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1回避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		障がい理解の研修は受けておりますが、虐待に特化した研修は受けておりません。今後受講を検討していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		当事業所に関しては母子通所を基本とした1時間の療育ですので身体拘束を行う想定がありません。法人全体で身体拘束に関するガイドラインを検討していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		医師の指示書はもらっていませんが、クッキングなどの際は保護者と成分を確認して実施しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ひやりはっと事例集を作成して職員がいつでも見れるようにしております。	